

# 避難経路図作成のポイント

## ポイント

ハザードマップを入手し施設周囲の浸水深を確認しましょう。ハザードマップは福島市公式ホームページなどで確認できます。

ハザードマップでは浸水深を色分けして表示しています。施設の周囲が何色か確認しましょう。

福島市ハザードマップ

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/bosai/bosaikiki/hazard/index.html>

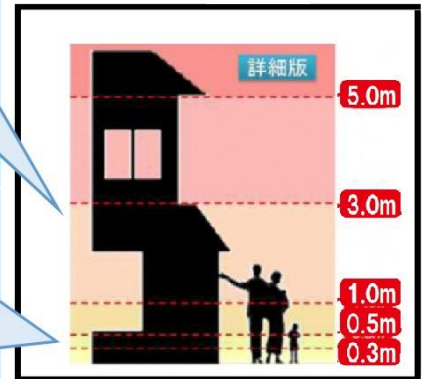
福島市eマップで検索

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/jouhouka-seisaku/shise/fukushimaemap.html>

0.5m～3.0mの浸水では…



0.5m以下の浸水では…



## ポイント

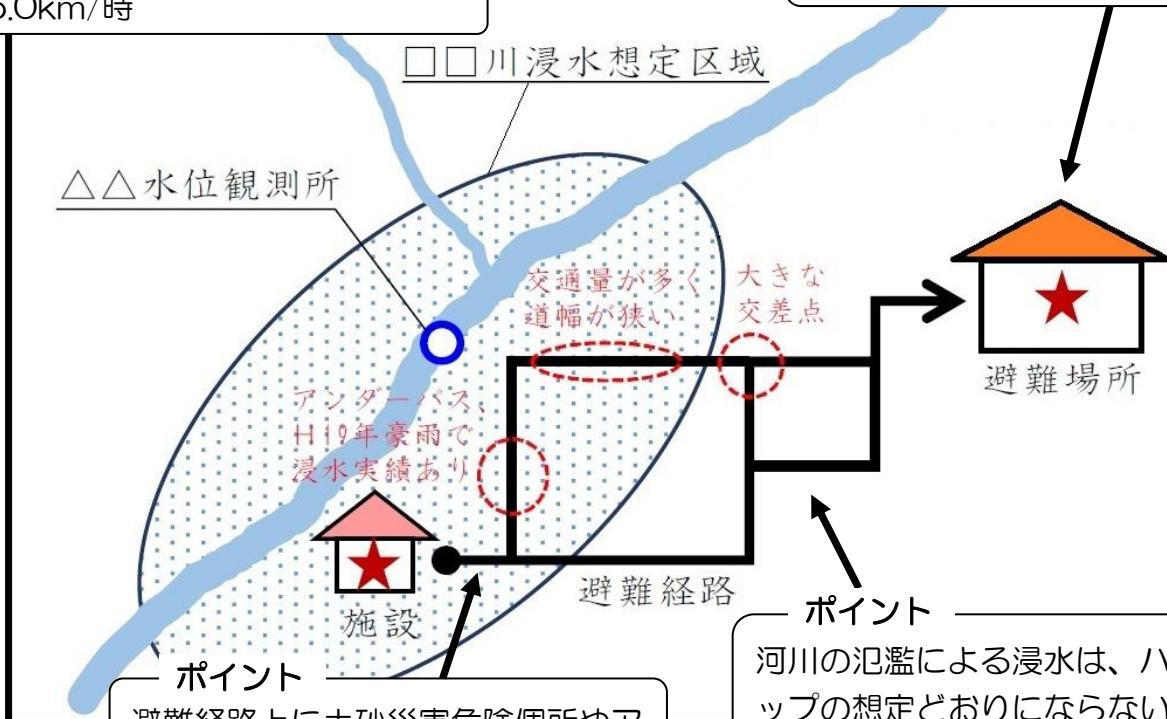
一般的な歩行速度は1.0m/秒、歩行困難者や乳幼児などは0.5m/秒くらいになります。

車両で移動する場合、大雨により普段より時間がかかる可能性があります。

4.0～5.0km/時

## ポイント

慣れない場所に避難する場合、施設利用者が体調を崩したり、パニックに陥ることが考えられます。系列施設など施設独自の避難所を検討しておくことが重要です。



## ポイント

避難経路上に土砂災害危険箇所やアンダーパス、過去に浸水した道路はありませんか？

## ポイント

河川の氾濫による浸水は、ハザードマップの想定どおりにならないこともあります。複数の避難場所及び避難経路を設定しておきましょう。